

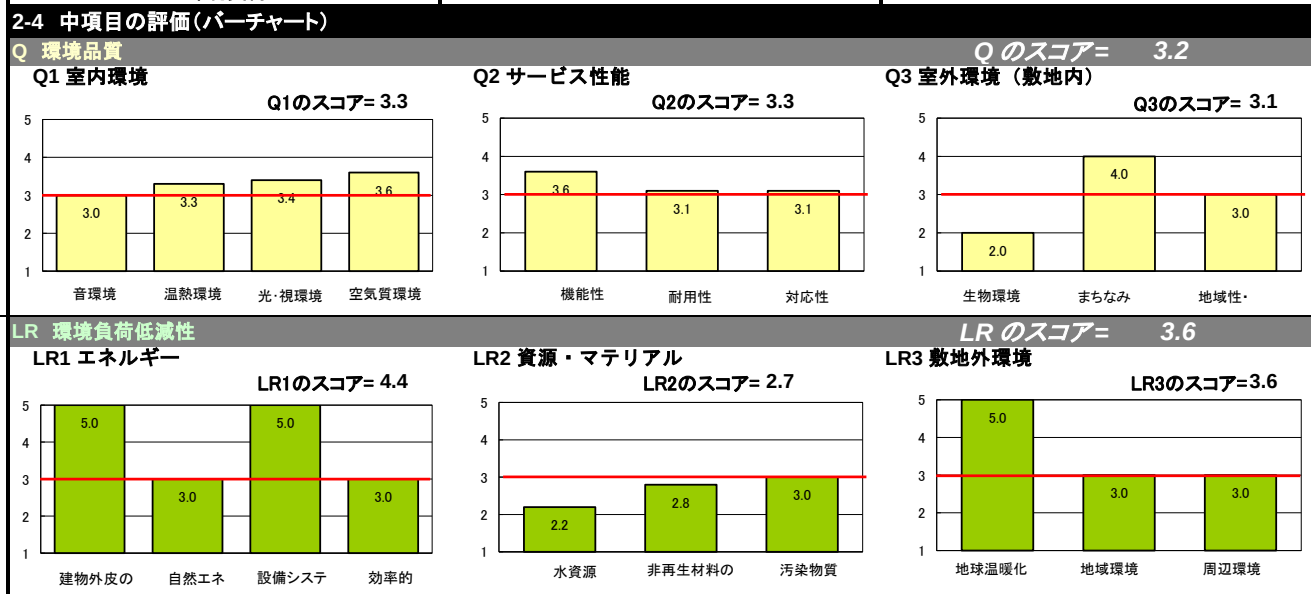
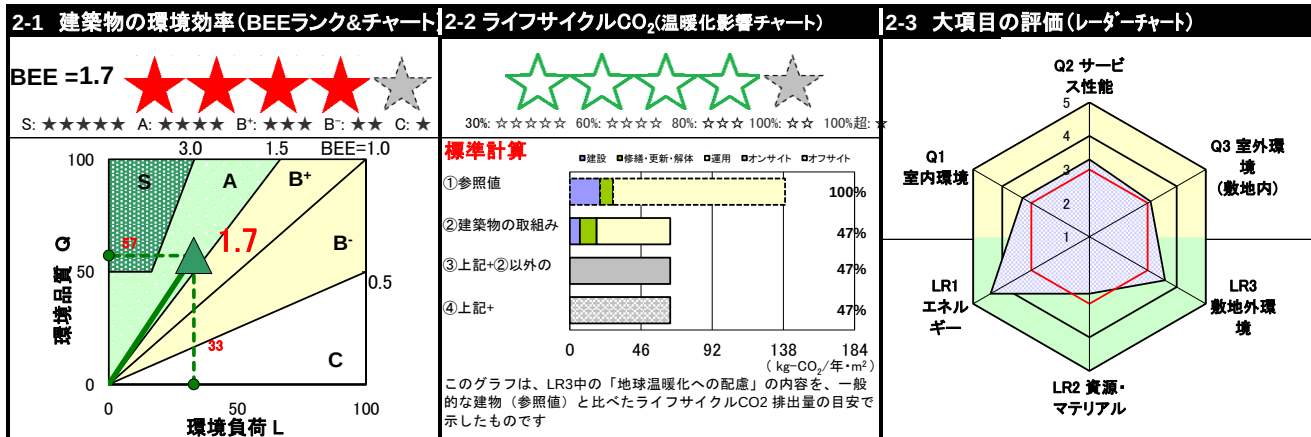
CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島市南区段原山崎二丁目	階数	地上14F
建設地	広島県広島市南区段原山崎二丁目	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域(市街化区域)、準防	平均居住人員	189 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年5月7日
敷地面積	1,227 m ²	作成者	寺見 小織
建築面積	400 m ²	確認日	2024年5月24日
延床面積	4,322 m ²	確認者	服部 幸雄



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.6		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.9	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.5	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.2
設計の計画段階に配慮した事項 ZEH(日本住宅性能表示基準における断熱性能等級5相当)を達成している//BEI=0.79//LGSを採用し、躯体と仕上材が容易に分別でき、かつ、設備と仕上材が錯綜しないよう配慮している/ライフサイクルCO ₂ 排出率=47%	設計の計画段階に配慮した事項 /	設計の計画段階に配慮した事項 日本住宅性能表示基準において劣化等級3を達成している 主要な内装材・配管に長寿命の製品を採用している/自天井内配管、床コログシ配管を採用し、構造体を傷めることなく給排水管を更新できるよう設計している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される